



NEWS RELEASE

株式会社 すららネット
2025 年 11 月 12 日

日常会話・就労・留学ですぐ使える日本語学習 ICT 教材 「すらら にほんご」JLPT 対策コース新搭載 日本語初学者から JLPT 合格までを一気通貫でサポート

AI を活用したアダプティブな対話式 ICT 教材の開発と提供を行う株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦）は、国内外の外国にルーツを持つ人たちが就労・留学・生活に必要なレベルの日本語を楽しみながら習得できる ICT 教材「すらら にほんご」に、新たに日本語能力試験（以下、JLPT）対策コースの N5、N4 レベルを 2025 年 11 月 7 日より順次追加します。これにより、日本語初学者が基礎から段階的に学び、JLPT 合格に必要な実力を体系的に身につけられる学習まで、トータルにサポートすることが可能になります。

◆「すらら にほんご」紹介サイト https://surala.jp/service/service_other/nihongo/



「すらら にほんご」JLPT 対策コースの画面。左：「すらら にほんご」内から学習可能／右：実際の形式に合わせた豊富な問題

JLPT 受験者は過去最多※ 拡大する日本語学習市場に対応

JLPT は現在、世界 90 か国以上で実施される国際的な日本語検定であり、日本語学習者にとって最も広く認知された指標です。新型コロナウイルスの影響で 2020 年から 2022 年にかけて受験者数は大きく減少しましたが、2024 年には全世界で約 172 万人が応募し、過去最多を記録※。今後も受験者の増加が推測されます。

国内では外国にルーツを持つ児童生徒や就労者の日本学習需要が高まり、海外では留学や技能実習を目的とした学習者が増加しています。こうした日本語学習市場の拡大を受け、すららネットは AI とアニメーションを融合した日本語学習 ICT 教材「すらら にほんご」を通じて、学習者一人ひとりの習熟度に応じた個別最適化を実現してきました。

今回の JLPT 対策コースの追加により、学び始めから合格までを一貫して支援することが可能になりました。

※出典：日本語能力試験公式統計

日本 e-Learning 大賞
日本語教育特別部門賞 受賞

■株式会社グローバルウィザス

株式会社グローバルウィザスは、日本語教育、英語・諸外国語教育を中心とした教育サービスを提供しています。日本語学校「I.C.NAGOYA」、「Genki Japanese & Culture School」では、言語知識だけではなく、言葉の背景にある意識や物の考え方まで伝えることを真の語学教育と考え、学習者ひとりひとりの個性を大切に、目的をかなえるための環境を提供しております。さらに「グローバルウィザス日本語教育研究所」では、企業や自治体と連携した就労者向けオンライン日本語研修、受け入れ企業の日本人向け異文化理解研修、日本語教師養成、日本語教師の海外インターンシップ支援を行い、学習者・受け入れ側・教育者の三方向からグローバル人材育成を推進しています。

- ・コーポレートサイト <https://globalwithus.co.jp/>



■株式会社すららネット

すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念に掲げ、AIを活用したアダプティブな対話式 ICT 教材「すらら」「すららドリル」などを開発・提供しています。現在、国内の 2,600 校以上の学校や学習塾で導入され、約 25 万人の児童生徒が利用しています。全国の公立学校や有名私立学校、大手塾での活用が広がる一方、不登校や発達障がい、経済的困難な状況の子どもたちにも学習機会を届けることで、教育課題の解決に取り組んでいます。2017 年には、代表的な EdTech スタートアップ企業として東証マザーズ市場（現東証グロース市場）に上場しました。

- ・コーポレートサイト <https://surala.co.jp/>
- ・サービスサイト <https://surala.jp>